

株主のみなさまへ

..... Vol.49

株主通信 第113期第2四半期

2019年1月1日～2019年6月30日



SHIMANO

表紙：北海道、忠類川での釣り風景

SHIMANO



代表取締役社長 島野 容三

事業の経過および成果

当第2四半期におきましては、米中貿易摩擦の影響があり世界的に経済減速の懸念が強まりました。欧州では、米中問題や英国のEU離脱問題の長期化に伴い交易環境の不透明感がいっそう高まったものの、雇用・所得環境の改善に支えられ個人消費が拡大し、景気は底堅く推移しました。米国では、米中問題が景気の先行きに対する不確実性を強めた一方で、足許は良好な雇用・所得環境を背景に堅調に推移しました。日本では、個人消費は緩やかな拡大基調にあるものの、世界的な保護主義の動きから企業の業況は力強さを欠き、景気の先行きに翳りが見える展開となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は

181,949百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は34,053百万円（前年同期比1.3%減）、経常利益は34,644百万円（前年同期比9.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24,766百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

自転車部品

欧州市場では、春先から天候にも恵まれ、完成車の店頭販売は電動アシストスポーツバイクを中心に好調を維持しました。市場在庫も適正な水準で推移しました。

北米市場では、完成車の店頭販売台数は年初来軟調でしたが、3月後半以降は天候が改善し高級車を中心に販売環境が好転したこともあり販売金額は前年並みで推移しました。市場在庫については適正レベルを維持しました。

中国市場では、完成車の店頭販売は明確な改善の兆しがみえず、引き続き力強さを欠く状況が続きました。一方で市場在庫は適正なレベルを維持しました。

他の新興国市場について、南米市場では、ブラジル市場では引き続き回復基調を維持したものの、アルゼンチン市場は通貨安の影響で低迷が続きました。市場在庫はアルゼンチンを除き、適正に推移しました。

日本市場では、全体的に天候に恵まれたものの、高級スポーツバイクの販売は低調に終わりました。一方、通勤通学においてスポーツタイプのクロスバイクや電動アシスト車への切替えが一層進み、販売台数は減少しましたが、販売単価は上昇しました。市場在庫はやや高めで推移しました。

このような市況のもと、高級ロードバイクコンポーネント用ディスクブレーキや、電動アシストスポーツバイクコンポーネントのSHIMANO STEPSシリーズが引き続き好評を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は143,599百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は28,613百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

釣具

日本市場では、年始から暖かい気候が続きゴールデンウィー

ク中も天候が安定したことで小売店の来客数が増加し、販売は堅調を維持しました。

海外市場において、北米市場では、堅調な国内景気に支えられ販売は順調に推移しました。欧州市場では、大陸部の国で販売は力強さを欠いたものの、イギリスにおいては市場が持ち直し販売は好調でした。アジア市場では、中国を中心としてスポーツフィッシングの高い人気が続く販売は好調でした。豪州市場では、天候は全般的に良く主に量販店で販売が伸びました。

このような市況のもと、日本では、新製品を含む高価格帯リールが好調を維持し、売上は前年を上回りました。また、海外市場でも、全体的にルアー関連製品の販売が好調であったため、売上は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は38,179百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は5,473百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は170百万円（前年同期比6.0%減）、営業損失は33百万円（前年同期は営業損失64百万円）となりました。

中間配当のご報告

当社グループは株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期と同様の1株当たり77円50銭（うち特別配当71円25銭）とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期と同様の1株当たり155円を予定しております。

今後の見通し

通期の連結業績予想につきましては、新製品の立ち上げ費用、受注好調な製品の増産ならびに製造工程の改善に係る費用の増加が見込まれること、また当第2四半期連結累計期間において、アジア通貨安の影響から営業外費用が減少したこと等を踏まえ、下表のとおり変更いたします。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年9月

2019年12月期 通期連結業績予想数値の変更（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)	経常利益 (単位：百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (単位：百万円)	1株当たり 当期純利益 (単位：円)
前回発表予想 (A)	365,000	73,000	71,100	51,900	559.86
今回修正予想 (B)	362,000	67,000	67,600	49,300	531.82
増減額 (B)-(A)	△ 3,000	△ 6,000	△ 3,500	△ 2,600	
増減率 (%)	△ 0.8	△ 8.2	△ 4.9	△ 5.0	
前期実績 (2018年12月期)	348,035	65,687	73,588	53,931	581.77

2019年4月13日、オランダLimburg州のValkenburgにShimano Experience Center (SEC) がオープンしました。今回は、このSECについてご紹介いたします。



Shimano Experience Center 外観

Valkenburgは、オランダ南部のドイツ・ベルギーの国境に近い町で、自転車のロードレースも開催されるサイクリストにも有名な観光地です。その町の商業施設内に、展示スペースやカフェなどを完備したSECを開設しました。

SECは、サイクリング・釣り・ロウイングの楽しさを共有し、それぞれのコミュニティー同士の交流を深め、訪れた人々により深くシマノという企業や製品への思いを知っていただくという役割を担っています。SECでは、シマノの製品を実際に手に取るだけでなく、ヴァーチャルリアリティディスプレイを使って世界中の有名なサイクリング・釣り・ロウイングスポットを疑似的に体験することができます。また、周辺の自然環境を利用したイベントも開催されます。



サイクリングシミュレーター



釣りシーンと共に製品を展示

SECでの体験

BIKE WORLDと呼ばれるコーナーでは、ロードバイク、マウンテンバイク、電動アシストスポーツバイクなど、様々なカテゴリーの完成車や、自転車の各部品を機能ごとにわかりやすく展示しています。サイクリングシミュレーターは実際に撮影された自然の映像が使用されており、自転車の楽しさを実感できるようになっています。また、SECでは、家族や友人たちと一緒に、地元のガイドの案内やナビゲーションシステムに沿って、周辺をテストバイクで実際に走って楽しむことができ、シマノの自転車コンポーネントを体験することができるようになっています。

また、FISHING RIVERと呼ばれるコーナーでは、多様な釣りシーンのパネルや映像を見ることができ、その中で使用されている製品を実際に触って確かめることができるようになっています。池も併設し、そこで、製品を使用することもできます。

その他施設

SECに入るとすぐにSHIMANO WELCOME LOUNGEがあります。ここでは、数種類のコーヒーや紅茶、10種類以上のソフトドリンクやパイなどのパティスリーを楽しむことができます。その奥にはイベントや講習会などが行えるWORKSHOPエリアがあります。

その他に、自転車用ウェア等がセレクトされたスポーツストアのPearl Izumi、自転車における適切なポジションを測り自分の自転車をカスタマイズできるbikefitting.comも併設し、訪れた人により良い提案をできる体制となっています。



SHIMANO WELCOME LOUNGE

『グラベルバイク専用のグループセット GRXシリーズをリリース』

豊富な組合せでサイクリストの多様なライディング・スタイルをカバー



SHIMANO GRXシリーズは、シマノが初めてグラベルバイク専用開発したグループセットです。荒れた路面でも確実に変速やブレーキ操作が可能な専用設計のデュアルコントロールレバー、どのような環境下でも安定した制動力を発揮する油圧式ディスクブレーキ、オフロードタイヤにも対応したギアコンビネーションなど、砂利道や林道などの走行に最適化した設計により、ドロップハンドルでのアドベンチャーライドを快適に楽しむことができます。SHIMANO GRXシリーズでは変速システムを電気と機械式、フロントギアをダブルとシングル、リア変速の段数を11段と10段から選ぶことができるなど、多様な組み合わせを選べるように設計されています。これによって、ユーザーの求める機能や価格帯に応じて多様なグラベルバイクを組み上げることができます。

グラベルバイクとは？

グラベルバイクとは、ロードバイクを舗装路だけでなく砂利道や林道といったより幅広いフィールドで楽しむ北米発祥のバイク・カテゴリーです。これまで多くのロードバイクのユーザーが、幹線道路から離れた交通量の少ない道を気持ちよく走りたいという願いを抱いていました。グラベルバイクは、最新機能によって荒れた路面での走行性能を高めることで、このような願いを実現した新しいタイプのロードバイクです。今では北米だけではなく、世界中のサイクリストから高い注目を浴びており、今後の成長市場になることが期待されています。



全国各地でE-BIKE試乗会を開催

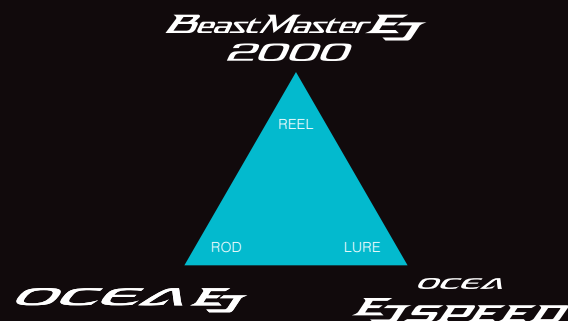


ここ数年、日本国内で電動アシスト自転車の需要が拡大する中、スポーツタイプの電動アシスト自転車であるE-BIKEが注目を浴びています。E-BIKEの更なる普及に向けて、シマノはE-BIKE向け電動アシストユニットのSHIMANO E8080シリーズを採用いただいている完成車メーカー様と全国の販売店様のご協力のもと、E-BIKE試乗会を開催しました。2019年上半期には全国25会場で延べ750名超の方にE-BIKEの爽快な走りを体感していただきました。シマノは引き続きE-BIKEを含めたスポーツ車市場の活性化に向けた取り組みを継続して参ります。

『電動ジギング対応のタックルが拓く、新たな釣りの魅力』



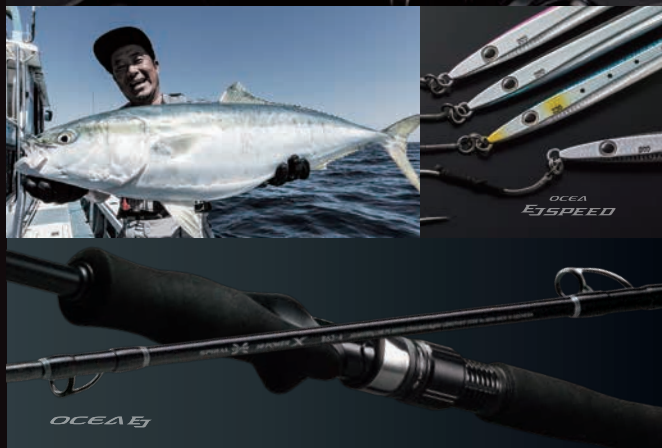
【ハイスピード&ハイパワー
電動でしか獲れない魚がいる】



近年、盛り上がりを見せているソルトルアーフィッシング。

中でも釣り船に乗って超大物を含む対象魚をルアーで楽しむ「オフショアソルト」と呼ばれるカテゴリーは、魅力あふれた釣りの一つとして知られています。

2019年、シマノはこのオフショアソルト市場に向けて新たな挑戦を始めました。今秋発売を開始予定の電動ジギングに対応する3つの新製品、電動ジギング対応リール「ビーストマスター 2000EJ」、電動ジギング専用仕様のルアーロッド「オシアEJ」、電動ジギングのハイスピードにも対応するルアー「オシアEJスピード」をシステムとして、総合メーカーらし



く提案することでジギングの世界に新たな愉しさを提供することです。

ジギングとは、メタルジグと呼ばれる金属でできたルアーを使用し、魚を狙う釣り方です。重いメタルジグを使用したり、引きの強い魚を対象とすることも多いため、本来は相応の体力を必要とするのですが、これに電動リールを組み合わせることで釣り人をサポートし、多くの人がジギングを楽しむことができるようになります。

電動ジギング対応のリール・ロッド・ジグ、そして釣り人が一体となって創り出す未体験のジギングゲームの持つ新たな魅力が釣具市場に新風を吹き込みます。



Beast Master EJ 2000

「ビーストマスター 2000EJ」は、既存の電動リールでは演出できない多彩なジグアクションを可能にする新機能EJモードを搭載しています。

OCEA EJ

電動ジギング専用の仕様を各所に搭載したルアーロッドが「オシアEJ」です。ビーストマスター 2000EJのハイスピードとパワーにも余裕で対応するため、ロッド全体で荷重を受け止めることができ、さらにスムーズな曲がりを実現しています。

また、大型でボリューム感のある電動リールをセットした場合の握りやすさを追求する等、電動ジギング専用ロッドとしての使いやすさを考えた設計となっています。

小学生向けフィッシングイベントの開催

グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル4Fにあるシマノスクエアでは、毎月2回程度、フィッシングイベントを開催しています。

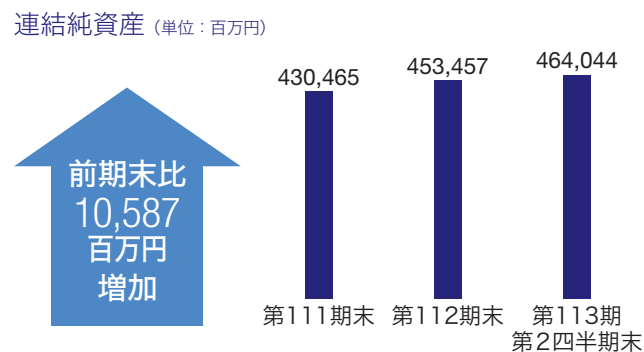
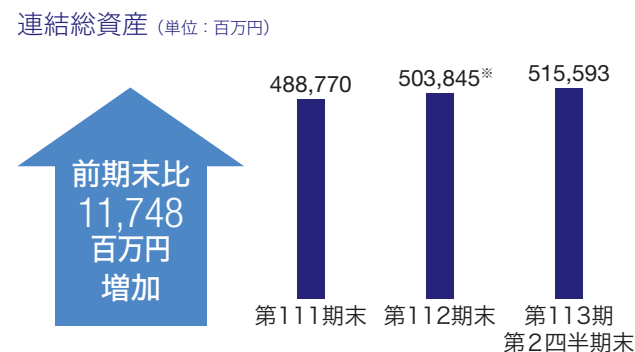
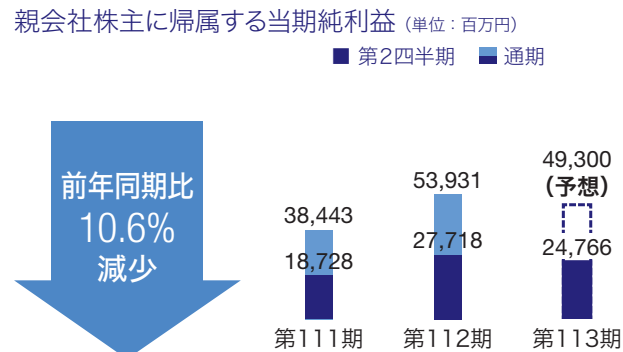
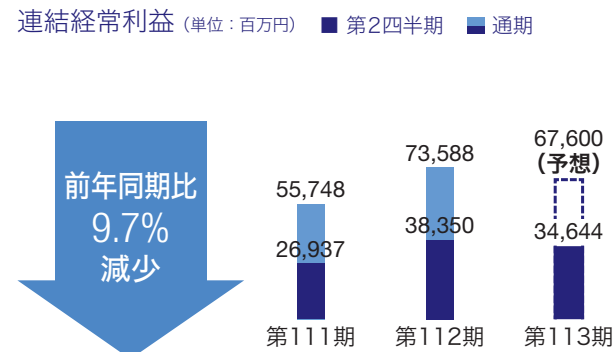
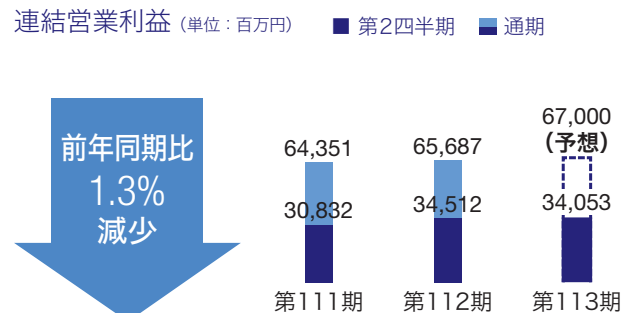
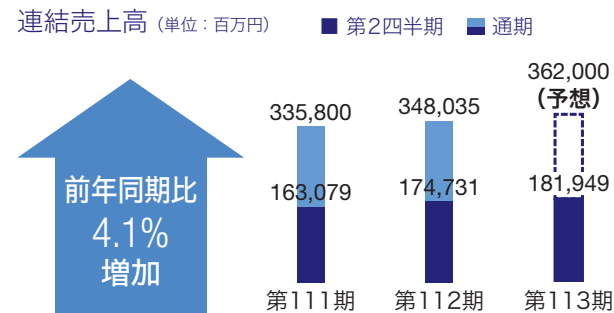
今年3月には、小学生向けフィッシングイベント『ルアーってなんだろう?』を開催しました。小学生向けフィッシングイベントは子どもたちに釣りの楽しさや自然の素晴らしさを感じてもらえることを目的としています。

このイベントの前半は、ルアーはどうやってできたのか、魚の名前、その魚を釣るためのルアーについてのクイズを行い、子どもたちに楽しみながら釣りへの知識を深めてもらいました。また、色々なルアーにも実際に触ってもらいました。

後半は、ルアーにフェルトペンで色を塗って自分だけのオリジナルルアーを作るコーナーを設けました。白色のルアーにフェルトペンで思い思いのカラーを付けて出来たルアーは皆さんにプレゼントしました。参加された子どもたちは、世界で1つしかない自分のルアーが出来上がって大変喜んでいました。子どもたちからは『大きな魚を釣ってみたい!』、『今日作ったルアーで魚釣ります!』などうれしい感想をたくさんいただきました。

これからも、多くの皆様に釣りの魅力を発信していきたいと思えます。

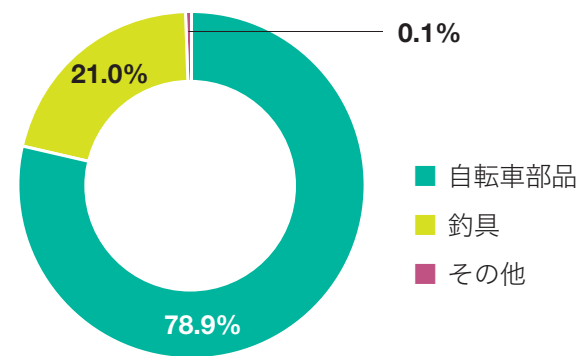




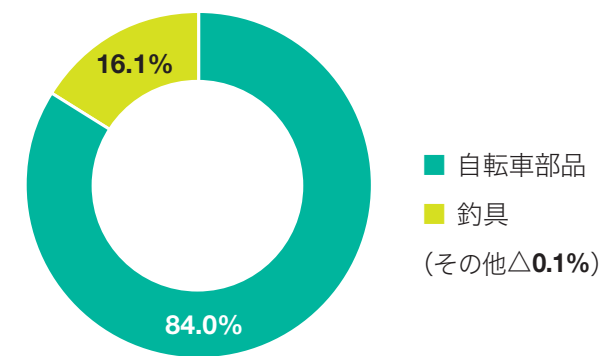
■ セグメント別の売上高と営業損益の状況

第113期 第2四半期	売上高 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)	営業損益 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	143,599	4.1%	28,613	△ 3.0%
釣具	38,179	4.2%	5,473	8.0%
その他	170	△ 6.0%	△ 33	—%

セグメント別の売上高比率(第113期第2四半期)

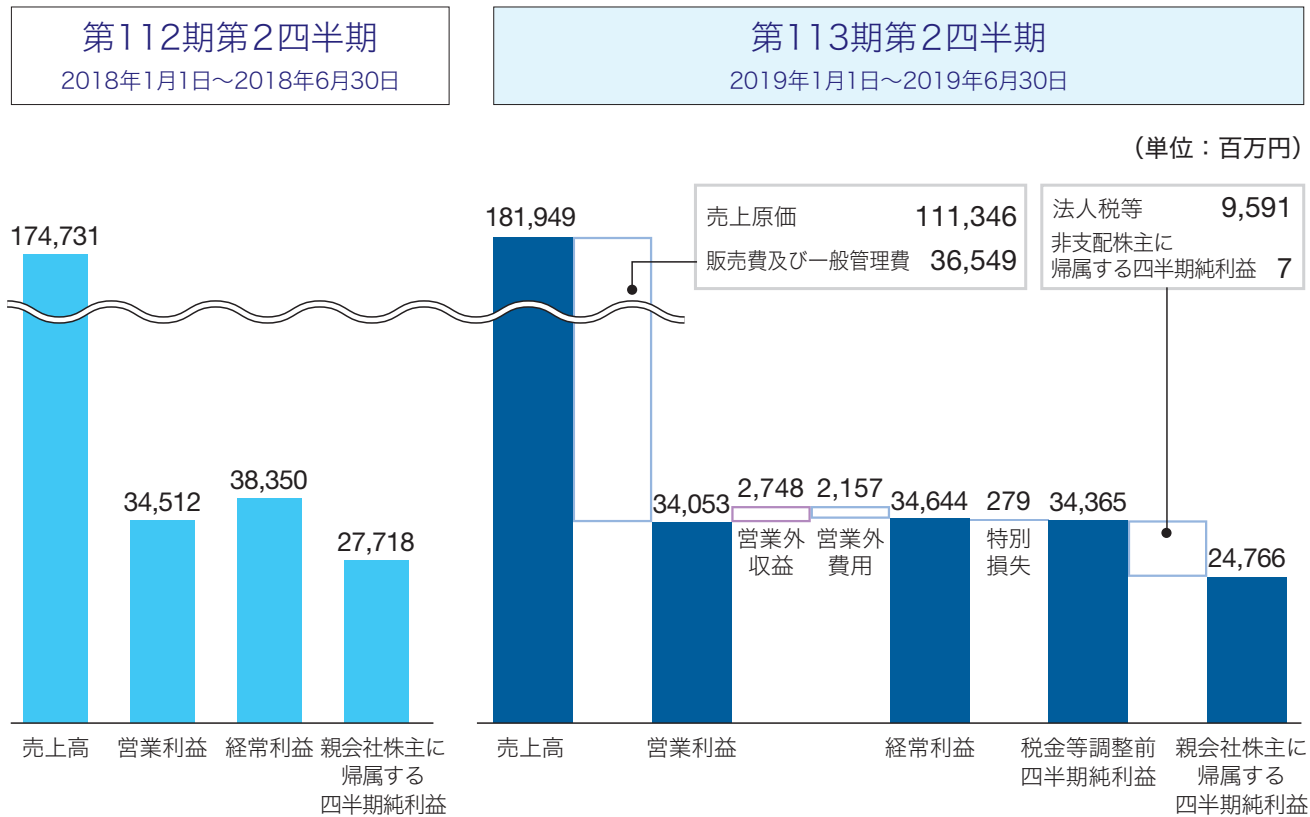


セグメント別の営業利益比率(第113期第2四半期)



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第113期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、第112期末の連結総資産については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

■ 連結損益計算書（要約）



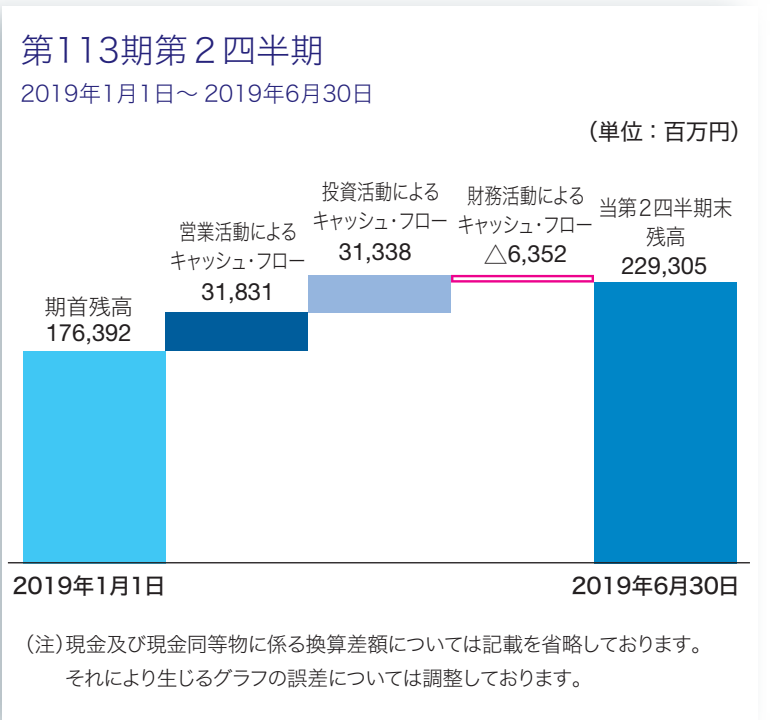
第113期予想（連結）

項目	業績予想		セグメント別売上高予想	
	金額	前年比	金額	前年比
売上高	3,620 億円	4.0%増	自転車部品	2,900 億円 4.6%増
経常利益	676 億円	8.1%減	釣具	715 億円 1.5%増
親会社株主に帰属する当期純利益	493 億円	8.6%減	その他	5 億円 40.5%増

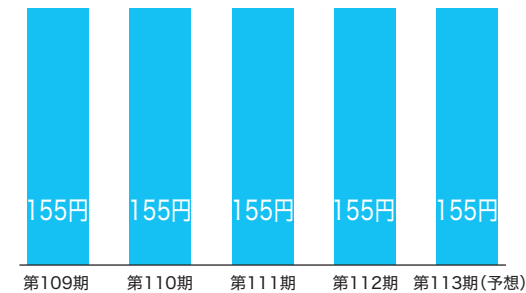
■ 連結貸借対照表（要約）



■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）



年間配当金の推移

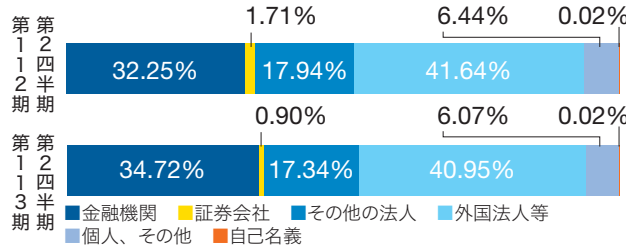


第113期の第2四半期配当金は、前年同期と同様の1株当たり77円50銭（うち特別配当71円25銭）とし、年間配当予想額を前期と同様の1株当たり155円とする予定です。

株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、今後も安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行ってまいります。

- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式の総数 92,720,000株
- 株主数 6,553名
- 単元株式数 100株

所有比率

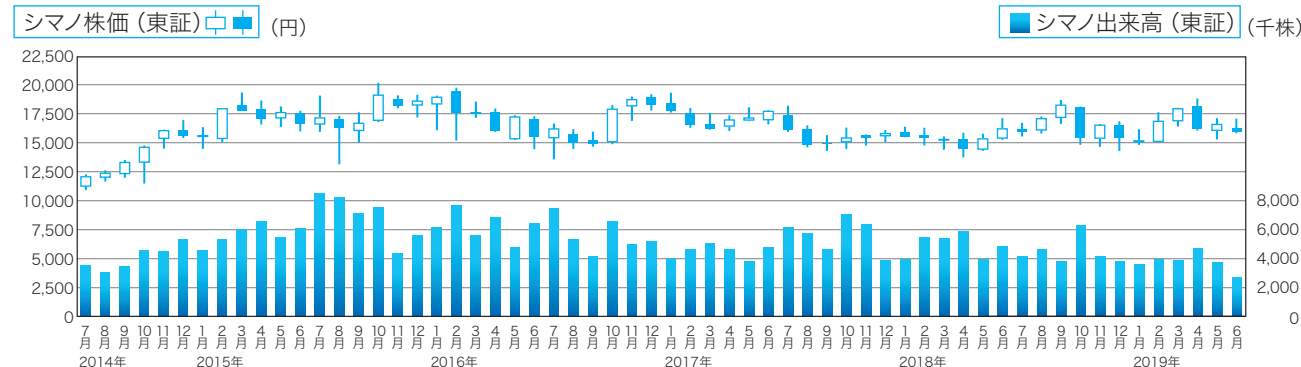
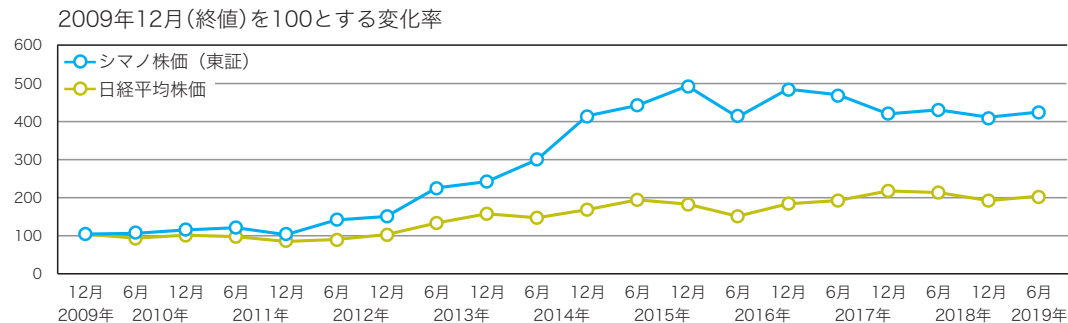


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	7,715	8.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,563	7.08
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	5,406	5.83
太陽工業株式会社	4,060	4.38
JP MORGAN CHASE BANK 380055	3,724	4.02
株式会社スリーエス	2,171	2.34
日本生命保険相互会社	2,098	2.26
株式会社三菱UFJ銀行	2,066	2.23
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,764	1.90
株式会社りそな銀行	1,711	1.85

(注)持株比率は自己株式(18,836株)を控除して計算しております。

株価チャート



社名 株式会社シマノ
 英文社名 SHIMANO INC.
 創業年月 1921年2月
 設立年月 1940年1月
 資本金 35,613百万円
 事業内容 自転車部品、釣具、ロウイング
 関連用品等の製造販売
 本社 〒590-8577
 大阪府堺市堺区老松町
 3丁77番地
 URL <https://www.shimano.com>

役員

代表取締役社長	島野 容三	取締役	大竹 正浩
代表取締役副社長	角谷 景司	取締役	清谷 欣司
専務取締役	島野 泰三	取締役	吉田 保
専務取締役	豊嶋 敬	社外取締役	一條 和生
常務取締役	平田 義弘	社外取締役	勝丸 充啓
常務取締役	津崎 祥博	社外取締役	榊原 定征
常務取締役	チア チン セン	常勤監査役	島津 孝一
取締役	樽谷 潔	常勤監査役	勝岡 秀夫
取締役	松井 浩	社外監査役	野末 佳奈子
取締役	大津 智弘	社外監査役	橋本 敏彦

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 3月
 基準日 期末配当金 毎年12月31日
 中間配当金 毎年6月30日
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告
 当社のホームページに掲載いたします。
 (<https://www.shimano.com>)
 ただし、やむを得ない事由によっては電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 事務取扱場所
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 ☎0120-782-031
 ホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 証券コード 7309